

【家庭数】

令和2年11月吉日

愛宕小学校保護者各位

八王子市立愛宕小学校 学校運営協議会
会長 貴家 由美子

愛宕小学校 学校運営協議会だより

愛宕小学校は、地域運営学校（コミュニティ・スクール）のため、学校運営協議会にて、学校や地域についての会議を行っています。第4回学校運営協議会は、作品展と同日の11月14日（土）に行われ、家庭科室にて以下の話し合い、討議をしました。

（出席…校長・副校長・委員5名、計7名）

- 議題：**
- ・会長、校長、副校長あいさつ
 - ・学校からのお知らせ
 - ・作品展について委員から感想

今回の学校運営協議会は、令和3年
1月22日（金）15時30分からです。
（書記代理：山本）

学校からのお知らせ

- ・学校行事について

2学期に入り10月31日の運動会そして本日の作品展と、大きな行事が続いた。コロナ禍での行事という事になるため、学校では基本的な【マスク・手洗い・人との距離】の対策を十分に取りながら、どうしたら開催が出来るかを考え、工夫をしながら準備を進めてきた。今後もこの基本をしっかりと守っていききたい。また、家庭内での感染が増えているという話もあるので、ご家庭での朝の検温は引き続き毎朝しっかりとお願いしたい。発熱の際には、欠席とならず出席停止の扱いとなるので、お子さんの体調が優れない時には無理をせずにお休みをして欲しい。引き続きご協力をお願いしたい。

- ・G I G A（八王子市におけるG I G Aスクール構想の実現）について

八王子では、市立学校へ通うすべての子どもを対象に1人1台の学習用端末が導入される事となった。学校では各クラスへの端末充電器の設置などの準備を進める予定。端末の活用方法は、学校では教科書のQRコードを読み取って写真や動画を見ることが出来たり、インターネットで調べ物をする等の活用が出来たりするそう。家庭では、オンラインの教材を使用して学習をしたり、将来的には学校からのお知らせも端末で受け取ったりする事も想定されている。

より詳しい情報は以下をご確認下さい。

「G I G Aスクール説明会（家庭向け）」

令和2年（2020年）10月30日（金）午後3時から12月25日（金）まで視聴可能

- ・右のURLまたはQRコードからアクセスしてご視聴ください。 <http://youtu.be/3z1CXDgvRzM>
- ・動画は約15分の予定です。
- ・視聴環境により通信料がかかる場合があります。



《委員から》

- ・端末の導入により個別最適化（子供の能力による課題の量、内容）が出来れば最高だと思う
- ・子どもの健康面への影響や、体力低下について少し心配である
- ・コンテンツがどのくらい充実するか今後注目したい

《学校から》

- ・新しい事の導入には心配は尽きないが、一つずつ解決してフォローしていきたいと考えている

作品展について感想

《委員から》

- ・ 2年生のトトロ絵の具と、5年生の消して書く不思議な植物が良かった。2年生の作品は可愛らしい世界観に溢れていて楽しい気持ちになった。5年生は対照的に真っ黒で暗いが、その分伝えたい事が明確に浮かび上がっているように感じた。
- ・ 6年生の未来の自分像は楽しみだったので、無くなって残念だった。
- ・ 全体的にとってもカラフルでメルヘンチックなイメージが強かった。
- ・ 展示が素敵だった。音楽もかかっている、美術館に来たような気持ちになってとても良かった。
- ・ 6年生の墨の絵が素晴らしかった。色が無い分、個性が出ているように感じた。

《学校から》

今年度はコロナの影響で作品数が少ないが、工夫して作り、時間をかけて展示をしている。子ども達の素晴らしい作品を皆さんに見て頂きたい。

学校運営協議会主催活動

- ・ 10月18日漢字検定開催。試験監督ボランティアありがとうございました！
- ・ 放課後子ども教室より

上柚木音楽祭オンライン版にハンドベルの「愛宕アンサンブル」が出演♪

- ・ スポーツ鬼ごっこ全国大会に出場。12歳以下の「あたごっちたまごっち」チームは、予選で大健闘したものの、決勝進出ならず。9歳以下の「あたごっちスプライト」チームは予選、本戦と勝ち上がり、決勝で延長戦の末ついに優勝！全国大会優勝おめでとうございます！

🌸さくらの会より🌸

9月25日、10月20日、11月24日と、さくらの会を行いました。作品展やSNSの使い方についての話題が出ました。次回は今学期最後となります。マスクを着用し水分補給に水筒をご持参のうえ、ご参加ください。12月16日(水) 10時から応接室にて開催。

📖図書ボランティアより📖

今年度はなかなか図書ボランティアの活動が出来ませんでした。ようやくスタートできることになりました。多くの方々が参加して下さり有り難い限りです。司書の笠原先生からボランティアの方達とご一緒の活動ができたなら、という嬉しいお申し出がありました。活動日の日程が決まり次第、ボランティアの皆さんにお知らせ致します。

🌸委員のコラム🌸

「子どものロコモ」を知っていますか？

元来、ロコモ（ロコモティブシンドローム）とは、神経・筋肉・関節などの運動器の障害のために、移動能力が低下した状態のことです。高齢者が要介護になる前段階として注目されていますが、子ども達にもこのような運動器の機能不全が起こっているのではないかとということが危惧されています。

ゲームの普及や外遊び場の減少などにより、子どもの身体運動の機会は著しく減少しています。その結果、片脚でしっかり立つ、手を真つすぐ挙げる、しゃがみ込むなどの基本動作のできていない子が急増しています。日常生活の中では、雑巾がけの際に手で支えられず前歯を折ってしまう、転んだ時手をつけずに顔面を打ってしまう、自身の倒立はおろか倒立する子を支えられない、物を投げる動作ができないなど、少し前の時代には考えられなかったことが起こってきています。学齢期の子どもの骨折発生率も、1970年以降、増加の一途をたどっています。このままでは、今の子ども達が大人になった時に真のロコモとなる確率は高く、要支援や要介護となる時期が早まることは避けられないでしょう。

感覚や運動を司る神経系の発達は、8歳前後にはプラトーに達すると言われています。したがって、小学生のうちは大いに体を使った遊びを行い、生きる力の源となる体づくりに励むことが大切ではないかと考えます。たとえ、運動が苦手な子どもであっても、この時期に獲得したスキルは大人になってからも保持されます。それだけでなく、運動を通じて得られた好ましい経験は、やがて自己効力感や生きる自信へとつながっていくものです。

問川博之